やさしく　かしこく　たくましく

山本小学校だより

令和5年7月13日
Ｎｏ．9
文責　宮村　まり

伝統の城ノ越太鼓　発表会

先週の７月７日（金）に城ノ越太鼓の発表会がありました。昨年度までは運動会に行われていましたが、運動会に係る活動がたくさんあり、子供たちが十分に練習する時間がとれないことなどから、運動会とは分けて、１学期の後半に発表会を開くことにしました。

城ノ越太鼓の始まり　さて、なぜ山本小学校で城ノ越太鼓が演奏されるようになったか、百周年の記念史に、当時の校長先生が回顧録に「【山本・城ノ越太鼓】発案実施覚書」として記されている文を基に（引用したり参考にしたり）して、皆さんにお伝えします。

城ノ越太鼓が初めて演奏されたのは平成１１年９月に行われた運動会でした。当時の教頭先生が曲を創作し、低学年の部、高学年の部、そして教職員の部の三部で構成された演奏でした。

その当時、小規模少人数校、過疎化現象という学校や地域の現状化から、当時の児童のことはもちろんですが、将来的・継続的に地域の活性化に貢献する事業興しとして発案されました。

①全校児童で取り組める　②保護者、地域も参加できる　③対外的にアピール性が高い　④学校・地域の特色として継続できる　⑤万人的に意気高揚の効果がある　という条件を満たしたのが和太鼓演奏だったそうです。

自前の太鼓は宝くじ助成資金で購入、竹太鼓やハチマキはPTA役員を中心とする保護者の皆様と教頭先生の手作りだったとのことです。また、大太鼓は、大阪在住の卒業生の方が寄贈してくださったそうです。加えて、平成１２年からは、保護者や地域の有志で、城ノ越太鼓・大人部会として週１回練習をされていた時期もあったとのことです。

それ以来、特に特定の指導者を有することなく、口伝えや動画等をもとに、引き継がれてきた城ノ越太鼓の演奏です。子供たちが心を合わせて、一生懸命堂々と演奏している姿から、２４年前に始まった当時の思いも、きちんと受け継がれていることが感じられます。これからも、太鼓とそこに込められている思いを受け継いでいきます。

山本小学校ホームページ　日々の出来事などを随時更新しています

６月初旬までは、学校便りで学校の様子等をお伝えしていましたが、運動会後から、ホームページの「山本っ子たち」の中の、**「山本っ子ニュース」**でもお伝えしています。ホームページの良いところは、話題が新鮮なうちに、カラー写真で、紙を個々にお渡ししなくてもお届けできることです。例えば、同居されていないおじい様やおばあ様にも、「今日の記事を見て！」と連絡してくださると共有できます。他の校務や動静によって、アップが難しい日もありますが、できるだけ毎日、継続して更新していきますので、ご覧いただけると嬉しいです。給食も写真を掲載しています。山本っ子たちや山本小学校の素晴らしさを、多くの方に知っていただきたいと思っています。

「熊本　山本小」と検索してくださると、トップページが見つかります！